

第1回 大分県美術館構想検討委員会 資料

日時 平成22年1月27日(水)

12:40~15:00

場所 大分県立芸術会館

講堂(3階)

- 1 美術館構想検討委員会設置要綱 資料1… P1

- 2 平成21年度における美術館構想の検討経過について 資料2… P5

- 3 検討委員会の進め方について 資料3… P6

- 4 県立芸術会館の現状と課題について 資料4… P8

【その他参考資料】 … P15

大分県美術館構想検討委員会設置要綱

(目的)

第1条 県立芸術会館の現状を踏まえ、幅広い観点から美術館のあり方を検討するため、「大分県美術館構想検討委員会」(以下「検討委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討委員会は、以下の項目を中心に検討を行い、県立美術館のあり方について基本構想を取りまとめ、知事へ答申するものとする。

- (1) 県立美術館の必要性
- (2) 県立美術館のコンセプト
- (3) 県立美術館に求められる機能
- (4) 県立美術館の整備のあり方
- (5) 県立美術館の管理運営のあり方

(組織)

第3条 検討委員会は、知事が委嘱する別表に掲げる関係分野の専門家及び一般公募者を委員とする。

- 2 検討委員会に委員長及び副委員長を置く。
- 3 委員長及び副委員長は、委員の互選によって選任する。
- 4 委員長は検討委員会を代表する。
- 5 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故等があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 検討委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員長は、必要に応じて、委員以外の者を出席させることができる。

(設置期間)

第5条 検討委員会の設置期間は、検討委員会が設置された日から1年間とする。但し、必要に応じて、延長することができる。

(事務局)

第6条 検討委員会の事務局を企画振興部文化スポーツ振興課に置き、必要な事務を行う。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

附則

- 1 この要綱は、平成22年1月27日から施行する。

(別表)

大分県美術館構想検討委員会名簿

氏名	職名等	分野
青木 茂	首都大学東京戦略研究センター教授	建築
板井 ひとみ	(有) 但馬屋老舗常務取締役	経済
金村 孝之	大分県立芸術緑丘高等学校教諭	教育
川崎 裕一	(株) 佐伯建設代表取締役社長	経済
酒井 忠康	世田谷美術館館長	美術
佐藤 寛子	イラストレーター	公募
澄川 喜一	東京芸術大学名誉教授	美術
中山 欽吾	大分県立芸術文化短期大学学長	教育
山口 真紀	ヴァイオリン奏者	公募
山口 正文	美術家	公募
渡辺 恭英	前大分県美術協会会長	美術

(50音順、敬称略)

< 専門家委員の経歴等 >

氏名	青木 茂
役職	首都大学東京戦略研究センター教授 (株) 青木茂建設工房主宰、一級建築士、博士 (東京大学工学)
経歴	佐伯市蒲江町出身 日本建築学会賞・業績賞(2001)、 グッドデザイン賞 (1999、2005、2008) など数々の受賞歴あり リファイン建築を提唱
氏名	板井 ひとみ
役職	(有) 但馬屋老舗常務取締役
経歴	竹田市出身 文化元年(1804年)創業の大分県一古い老舗の和菓子店の常務 2008年にトキハ本店に「茶寮但馬屋」をオープン
氏名	金村 孝之
役職	大分県立芸術緑丘高等学校教諭
経歴	国東市国東町出身 2003年に高等学校の美術教員として採用 専門は彫刻
氏名	川崎 裕一
役職	(株) 佐伯建設代表取締役社長 大分経済同友会常任幹事、大分県建設業協会理事
経歴	大分市出身 2009年に建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰を受賞
氏名	酒井 忠康
役職	世田谷美術館館長 美術館連絡協議会理事長、大分アジア彫刻展審査委員
経歴	北海道出身 神奈川県立近代美術館と世田谷美術館で約20年間の館長経験 近代美術の研究や現代美術の評論活動で活躍

氏名	澄川 喜一
役職	東京芸術大学名誉教授 彫刻家、日本芸術員会員、(財)横浜市芸術文化振興財団理事長 島根県芸術文化センター・石見美術館館長、大分アジア彫刻展審査委員長
経歴	島根県出身 2008年に文化功労者、東京スカイツリーデザインを監修 多くの彫刻展での受賞歴あり
氏名	中山 欽吾
役職	大分県立芸術文化短期大学学長 (財)東京二期会常務理事、 (社)日本クラシック音楽事業協会副会長
経歴	大分市出身 1995年、三井金属米国(株)社長 1997年に三井金属鉱業(株)退社後、二期会へ転身
氏名	渡辺 恭英
役職	前大分県美術協会会長 NPO法人大分県芸術文化振興会議理事、日本感性教育学会副理事長
経歴	豊後大野市朝地町出身 高校教諭を経て大分大学教授、2006年まで朝倉文夫記念館館長 2009年まで大分県造形教育研究会会長

<公募委員の紹介>

氏名	佐藤 寛子
住所	大分市
職業	イラストレーター
氏名	山口 真紀
住所	大分市
職業	ヴァイオリン奏者、大分大学非常勤講師
氏名	山口 正文
住所	国東市国見町
職業	美術家

平成21年度における美術館構想の検討経過について

○平成21年3月23日 「大分県中期行財政運営ビジョン」策定（以下、抜粋）

「子どもたちの挑戦や自己実現を支える大分県

県民が質の高い芸術文化に触れる機会を充実するとともに、芸術会館が築後30年以上経過し、施設の老朽化や絵画等の十分な展示スペースを確保できないなどの課題を解決するため、検討組織を立ち上げ、芸術会館（県立美術館）の基本構想の策定に着手します。」

○平成21年6月4日

「美術館構想庁内準備プロジェクトチーム」の設置に向け、庁内公募を開始

○平成21年6月29日

「美術館構想庁内準備プロジェクトチーム」（以下「PT」という。）を設置し、第1回会議を開催。具体的な準備作業に着手。計6回の全体会議を開催。

○平成21年7月13日

「大分県文化振興県民会議（設置根拠：大分県文化振興条例第24条）」を開催し、県立美術館構想について意見を求める

【委員の意見要旨】

- ・子どもたちが感性豊かに成長するためにいいものを鑑賞する機会を与えたい。
- ・何を見せるのかが大切。建物自体が美術品となっている美術館もある。
- ・收藏品から建物を含めたコンセプトをつくるといいのでは。
- ・芸術を志す人材が流出するのはもったいない。大分から芸術を発信できる美術館が良い。
- ・芸館のホールは今はいらないと思う。小さくても光る美術館をつくってほしい。
- ・まちづくりの視点で立地場所を選定するといい。
- ・時間をかけ、いろいろな意見を聞いてつくってほしい。

○平成21年11月16日

知事定例記者会見でPTがまとめた「県立美術館に関する論点整理」を公表
「美術館構想検討委員会（仮称）」の設置に向け、公募委員の募集を開始

○平成22年1月4日

「美術館構想検討委員会（仮称）」の公募委員3名を決定し、公表

○平成22年1月18日

知事定例記者会見で「大分県美術館構想検討委員会」の設置及び第1回委員会の開催を発表

検討委員会の進め方について（案）

◇ 委員会の検討フロー ◇

